

1 現場視察場所・行程

- (1) 場所：砂川歌志内線，文殊砂川線（平成28年度北海道豪雨被災箇所）
- (2) 日時：2019年7月10日、12：30～18：00

2 現場説明者・参加者

- (1) 説明者：鈴木
- (2) 参加者：石川，小原，鈴木，所，橋本，林，松田，山木（五十音順 敬称略）

3 災害の概要と視察箇所

3.1 被災概要

① 砂川歌志内線：

平成28年8月20～21日に発生した台風11号により、砂川歌志内線で盛土のり面が崩落した。盛土背面から浸透水の流入および盛土のり面からの雨水浸透により間隙水圧が上昇し、強度が低下したことによる破壊と考えられる。

② 砂川文殊線：

平成28年8月21日19時頃に被災した。台風11号による雨は21日未明には止んでおり、大雨から斜面崩壊発生まで時間差のある災害であった。これは、被災の十数時間前までに降っていた記録的な豪雨により斜面内部の地下水位が上昇し、雨が止んだ後も山側から浸透水が難透水層・不透水層より上部を流れ、のり先部の間隙水圧が上がり崩壊に至ったと考えられる。

3.2 視察箇所

① 砂川歌志内線

盛土底面部に、地下排水溝，基盤排水層を設け，小段には水平排水層を設け排水対策が行われている。



写真1 被災箇所の現状



写真2 被災箇所背面

② 文殊砂川線

法砕工+グラウンドアンカー工を併用した対策工が施されている。



写真3 被災箇所の現状

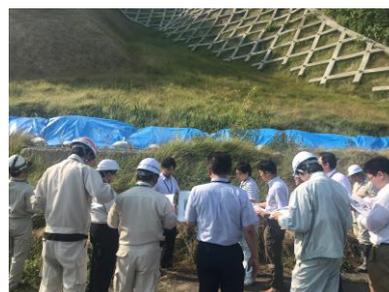


写真4 視察風景